

令和6年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：経済理論

この表紙の次には、「経済理論」の試験問題が1ページある。

答案用紙2冊を配付するので、1冊に書ききれない場合は2冊目を用いて解答すること。

2冊とも、所定の欄に科目名を記入し、科目名の横に①、②と記載すること。答案用紙はすべて提出すること。

科目名 経済理論

以下の問 1 と問 2 に解答しなさい。

問 1 ある産業 A の生産物を、個別企業の生産量を x として、短期の可変費用が $\frac{1}{2}x^2 + x$ 、短期固定費が 2 の費用で生産する技術がよく知られており、これが最善の技術であるとする。次の (1) と (2) に答えなさい。

(1) 産業 A の生産物の価格を p 、産業全体の生産物数量を X として、この生産物への需要曲線が $p = 999 - 2X$ と与えられているとき、この産業の長期均衡供給量はいくらになるか。

(2) もし需要曲線が $p = 7 - 2X$ だったら、この産業の長期供給量はいくらになるか。推論しなさい。

問 2 変動為替相場制の開放経済の下で不完全雇用状態にある国が、財政支出を増やす政策を採ったときの効果について論じなさい。